



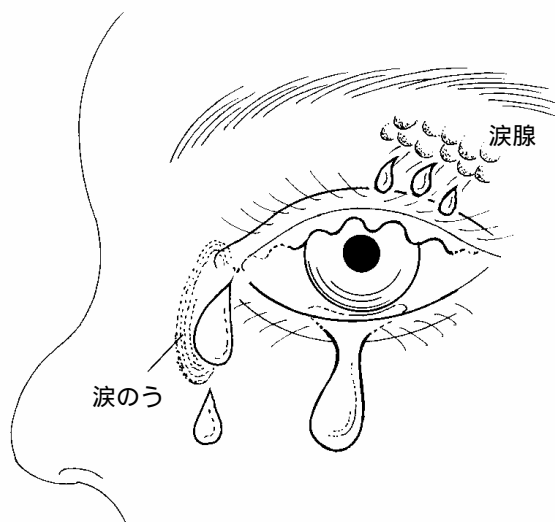
うれしいときや、笑ったときにも、なみだが出るのはなぜ

顔の筋肉がきん張するため

上まぶたの外側には、「涙腺」という、なみだをつくったり、ためたり、出したりするものがあります。なみだは、いつも目の表面を流れて、ごみを取ったりしています。

悲しかったりして泣いたときには、なみだが出ます。しかし、うれしいときや、笑ったときにも、なみだが出ることがあります。

これは、思わず顔をほころばせたり笑ったりして、顔の筋肉がきん張するためです。顔の筋肉がきん張して「涙腺」をおさえつけるため、なみだがしぼり出されてくるのです。



「あくび」をしたときのなみだも同じ

「あくび」をするときには、大きく口をあけるため、「涙腺」のまわりの筋肉がきん張します。そして、涙腺がおさえつけられ、なみだが、しぼり出されるのです。

もう一つは、「あくび」をすると、顔の筋肉がきん張するため、目と鼻の間にある「涙のう」という、なみだを鼻に流すところの口がとじて、なみだ流れなくなって、あふれ出てくることと、涙のうにたまっていたなみだが、しぼり出されるためです。

(監修・保志 宏)

